



うばゆり生育状況 20230422 発芽状況



うばゆり生育状況 20230422 発芽状況



うばゆり生育範囲 20230802



1 うばゆりの概要

関東以西に分布するユリ科の多年草。8月上旬、筒状で緑白色の花を放射状に咲かせる。花期に葉が枯れ落ちるため、葉=歯が抜けおちた姥の姿に見たてて「うばゆり」と呼ばれる。市内では美女木八幡社だけに自生している。

4月頃 発芽 4月～7月 茎の成長、蕾の成長 7月～8月 開花 9月～11月 結実、裂果
種から開花までは6～8年ほどかかり、毎年芽を出し光合成を行いながら球根を成長させる。十分な大きさになると開花し、結実する。一回繁殖型。

例年の状況 ※平成30年度から手を加えない形で観察

平成30年度	発芽：6株	内開花：3株
令和元年度	発芽：11株	内開花：6株
令和2年度	発芽：6株	内開花：2株
令和3年度	発芽：35株	内開花：1株
令和4年度	発芽：30株	内開花：3株
令和5年度	発芽：26株	内開花：0株

2：今年度の概要

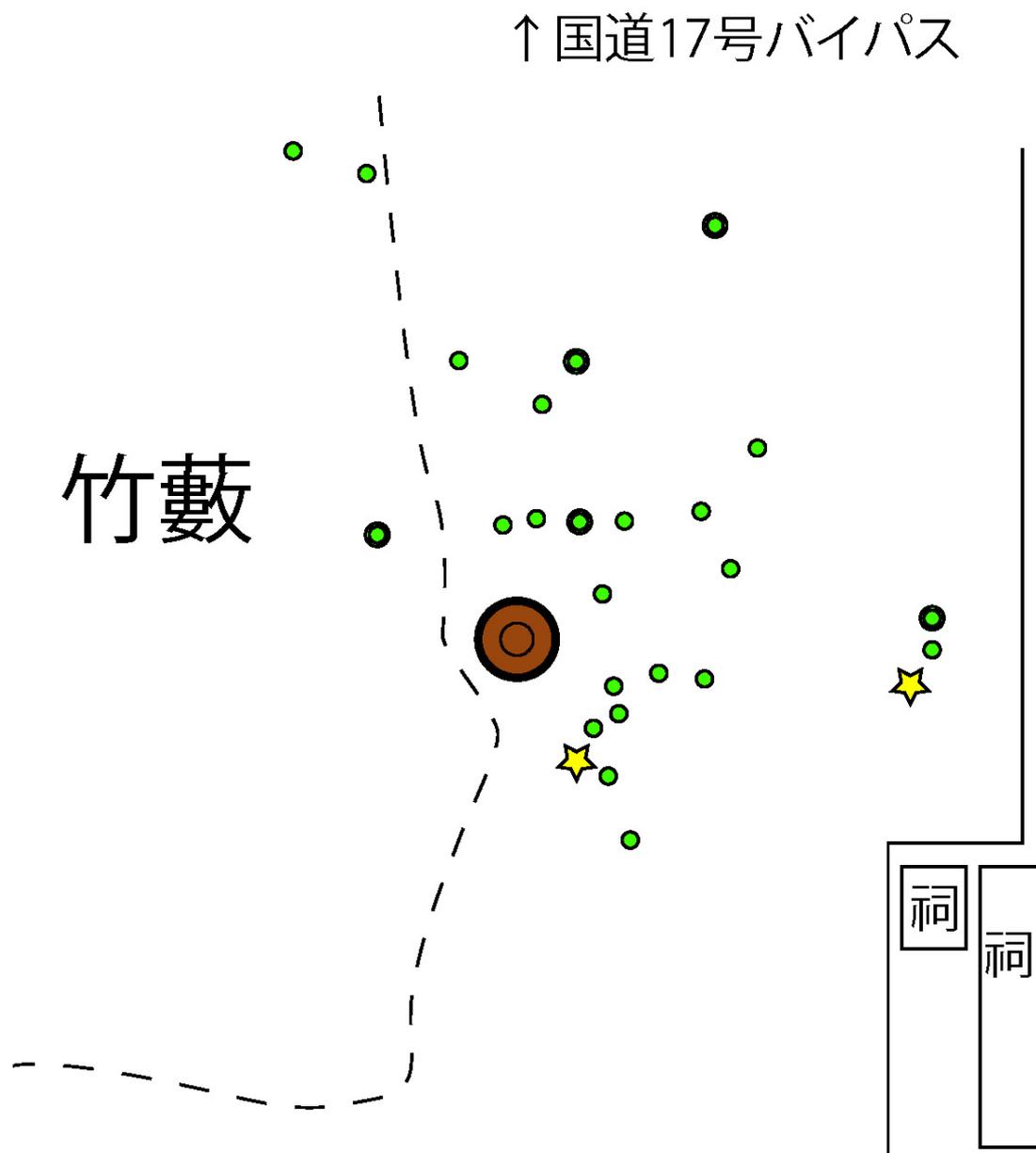
昨年度より発芽している数は減少した。葉が3枚以上のものは増加したが、葉が少ないもの、開花の可能性が高いものは、昨年度よりも減少した。一方で、開花数は0本となっている。7月は気温が高く、雨がほとんど降らず乾燥が影響した可能性がある。また、保存地域の竹藪が拡大しており、その影響もある可能性がある。

3：問題点・今後について

今年度の発芽数は例年と比較し減少している。開花したものは、今年度は0株だった。要因については今夏の雨の少なさや猛暑のため、生息範囲が乾燥した可能性があり、また竹藪がかなりひろがっているため、地下の球根がダメになっている可能性もある。

・竹藪について

令和4年度に美女木八幡社から、うばゆり育成地内で竹藪が拡大しているとの連絡があり、現行のやぶより外側の竹は伐採することにした。



- ★ 今年度開花する可能性が高いもの 2株
- 葉が大きく、3枚以上ついているもの 5株
- 葉が小さく、また大きくとも2枚以下のもの 19株
- 木